

報 告

小田原市酒匂川における
コオリガモ *Clangula hyemalis* の観察記録

和田圭史・平田寛重

Yoshifumi Wada and Hiroshige Hirata: The record of Long-tailed duck, *Clangula hyemalis*, from Sakawa River, Odawara City, Kanagawa Prefecture

緒 言

コオリガモ *Clangula hyemalis* (Linnaeus, 1758) は、カモ目カモ科に属する全長オス 51–60 cm, メス 37–47 cm, 翼開長 65–82 cm (氏原・氏原, 2015) の鳥類で、スカンジナビアからチュコト半島にかけてと北米のツンドラ地帯, グリーンランド (桐原ほか, 2009), アイスランド (Svensson, 2010) で繁殖し, 冬季は寒帯地帯の沿岸部に移動する。日本周辺では, カムチャツカから千島列島, 沿海州, 朝鮮半島にかけて越冬する (榛葉, 2016)。日本では冬鳥として北海道から本州, 九州の海上や海岸で記録され (日本鳥学会, 2012), 主に北海道, 東北北部での観察が多い (真木ほか, 2014)。関東近隣では, 千葉県や東京都, 山梨県, 静岡県で報告があるが, 神奈川県での記録は見られない (日本鳥学会, 2012; 日本野鳥の会神奈川支部, 2020)。

筆者の一人である和田は, 小田原市酒匂川でコオリガモのメス一年目冬個体 1 羽を観察及び撮影したのでここに報告する。なお本報告に掲載した画像は, すべて神奈川県立生命の星・地球博物館に鳥類アーカイブズ資料 (KPM-NQB) として登録した。

材料と方法

コオリガモを観察したのは 2014 年 1 月 18 日, 場所は小田原市酒匂川の酒匂橋付近で, 川幅 150 m の右岸から 20 m ほど離れた水面で見られた。当日の天候は晴れ時々曇り, 和田以外に観察者は見られなかった。観察は, 目視及び双眼鏡 (8 × 42), 800 mm 望遠レンズ付き一眼レフカメラによる写真撮影によった。観察中の当該個体との距離は 25 m 前後であった。

結果と考察

本個体は上流部からヒドリガモ *Anas penelope* の群れに混ざり岸沿いに移動, 周囲を警戒する様子は見られなかった。時々, 採食しながら対岸までの広範囲を泳ぎまわり, 酒匂橋上流部へ移動したのを確認した。当日は, 午前 11 時 10 分頃から 12 時 30 分頃まで観察された。翌日 19 日に同所に観察に行ったが, 確認できなかった。

本個体の嘴は灰色で先端が黒かった。顔は白色で頬は黒褐色であった。脇と腹, 下尾筒は白く, 尾は短かった (図 1; KPM-NQB 717)。頭中央線は黒褐色, 背と胸は黒褐色で淡色部も見られた。また, 肩羽は白色で羽縁は灰色, 雨覆は一般的な黒褐色であった (図 2; KPM-NQB 742)。

観察した個体は, 行動を共にしていたヒドリガモよりも小柄であり, 日本で記録のあるウミガモ類で形態に近いのは本種またはシノリガモ *Histrionicus histrionicus* のメスである。しかし, 顔の大部分が白色で耳羽に黒斑があること, 肩羽が一般的な暗色ではないこと, 胸部に淡い黒褐色の帯があり腹が白色であることから本種と判断した (氏原・氏原, 2015)。

本種のオス成鳥の場合, 中央尾羽が長く突出し, 嘴は黒色で先端はピンク色である。オス 1 年目冬個体では, 淡青灰色の先端が細長く尖る肩羽や灰褐色～青灰色の脇羽が特徴としてあげられる (氏原・氏原, 2015)。以上の特徴がみられないことから, メスと判断した。メスの成鳥冬個体の場合, 肩羽の羽縁は褐色で三列風切及び雨覆に淡色の羽縁がでる (氏原・氏原, 2015)。しかし, 本個体にはこれらの特徴はみられなかったことから, メスの 1 年目冬個体と同定した。

今回の報告以前に神奈川県ではコオリガモの渡来記録は見られず, この観察事例は県内での初記録となる可能性が高い。



図 1. 小田原市産コオリガモ（左側観）。嘴は灰色で先端は黒色。顔は白色で頬に黒褐色の斑が見られる。脇と下尾筒は白色であった。2014年1月18日，和田圭史撮影，KPM-NQB 717.



図 2. 小田原市産コオリガモ（右側観）。頭中央線は黒褐色で、胸は黒褐色で淡色部が見られた。肩羽は白色で羽縁は灰色、雨覆は黒褐色であった。2014年1月18日，和田圭史撮影，KPM-NQB 742.

謝 辞

報告にあたり，種の同定の助言をいただいた我孫子市鳥の博物館の学芸員小田谷嘉弥氏，神奈川県立生命の星地球博物館の学芸員加藤ゆき氏および編集委員の皆様に厚く御礼申し上げます。

引用文献

- 桐原政志・山形則男・吉野俊幸，2009. 日本の鳥 550 水辺の鳥増補改訂版 . 351 pp. 文一総合出版，東京 .
- Svensson, L., 2010. Collins bird guide, 2nd ed. 448 pp. Harper Collins Publishersd, Glasgow.
- 真木広造・大西敏一・五百澤日丸，2014. 決定版日本の野鳥 650. 788 pp. 平凡社，東京 .
- 日本鳥学会，2012 . 日本鳥類目録改訂第7版 . 438 pp. 日本鳥学会，東京 .
- 日本野鳥の会神奈川支部，2020. 神奈川の鳥 2011–15: 神奈川県鳥類目録VII . 685 pp. + 8 pls. 日本野鳥の会神奈川支部，横浜 .
- 榛葉忠雄，2016. 日本と北東アジアの野鳥 . 647 pp. 生態科学出版，相模原 .
- 氏原巨雄・氏原道昭，2015. 決定版日本のカモ識別図鑑 . 303 pp. 誠文堂新光社，東京 .

和田圭史：酒匂川鳥類研究会；平田寛重：日本野鳥の会神奈川支部

(受領 2020 年 10 月 23 日；受理 2021 年 1 月 21 日)